

第18回 JAB特別セミナー



平成28年12月16日（金） 15:30～17:00
広島大学生物生産学部 C316教室

長崎における家畜史の一例と ニワトリ品種分化の家畜史的研究



長崎県立農業大学校
松尾 雄二 教授

演者は、古文献(古代～江戸時代)にみられる家畜・畜産物の記録に基づいて、長崎における牛肉食、豚、と畜、牛肉料理・豚肉料理、牛乳・乳製品、ヒツジ・ヤギについて、食文化の歴史などに関する調査を幅広く行って来ました。長崎は日本の最西端に位置し、古の魏志倭人伝の頃より海外と交易を行って来た場所です。室町時代後期には南蛮貿易が行われ、江戸時代にはオランダ・中国との海外貿易が行われました。本講演では、古代のウシの文献類、ならびに室町時代以降の西洋文化との接触に関連した「牛肉食」文化を中心に、長崎のウシの歴史についてお話します。

また、ウシと同じ手法を用いて行った、奈良時代のニワトリの一般的な形態、ならびにトウマル、ショウコク、シャモなどの品種についての文献・絵画の分析結果についてもお話します。

連絡先： 都築 政起

tsudzuki@hiroshima-u.ac.jp 082-424-7950 (内線 7950)